

INFORMATION

プラネタリウム春の番組

火星への遙かな旅

西暦202X年、火星へ出発する観光宇宙船『マーズ・エクスプローラー』。あなたもその乗客のひとりです。さあ、いっしょに火星への旅を体験しましょう。

4月14日(土) → 7月8日(日)

金曜日	18:00
土曜日	11:30 ^{※1} 13:30 17:30
日祝日	11:30 15:30

※1 第2・4土曜日は子ども番組「キッズ・アワー」になります。

MUSIC PLANET

ミュージック・プラネット

満天の星空と心地よいサウンドが織りなすファンタジックなひとときをどうぞ。

4月 「奥田民生特集」

5月 「misia特集」

6月 「(未定)」

土曜日	19:00
	4月14・21日
	5月12・19・26日
	6月9・16・23・30日

星空ライブトーク

今夜の星空と月替わりの天文の話題を解説。

4月 「太陽ウォッチング」

5月 「オーロラのはなし」

土曜日	15:30
日祝日	13:30

■料金(入館料を含みます)

大人400円/小・中学生150円/幼児50円

第2・4土曜日は小・中学生以下無料

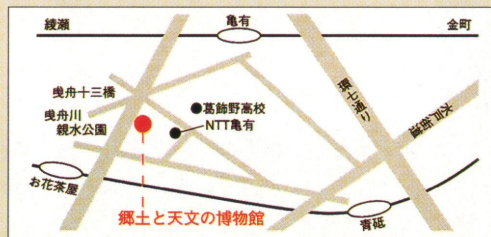
■休館日・休演日

月曜日(祝日は開館)/第2・4火曜日

7月11日(水)～13日(金)(番組入替えのため)

■上映15分前までにご来館ください。

交通のご案内



- 京成線「お花茶屋」から8分
- JR常磐線「亀有」から25分
- 京成バス(有57 亀有一奥戸車庫)
[共栄学園]下車徒歩5分
- 駐車場に限りがございます。
電車・バスをご利用ください。

インターネット・ホームページ <http://www.obs.misato.wakayama.jp/~katusika/index-j.html>

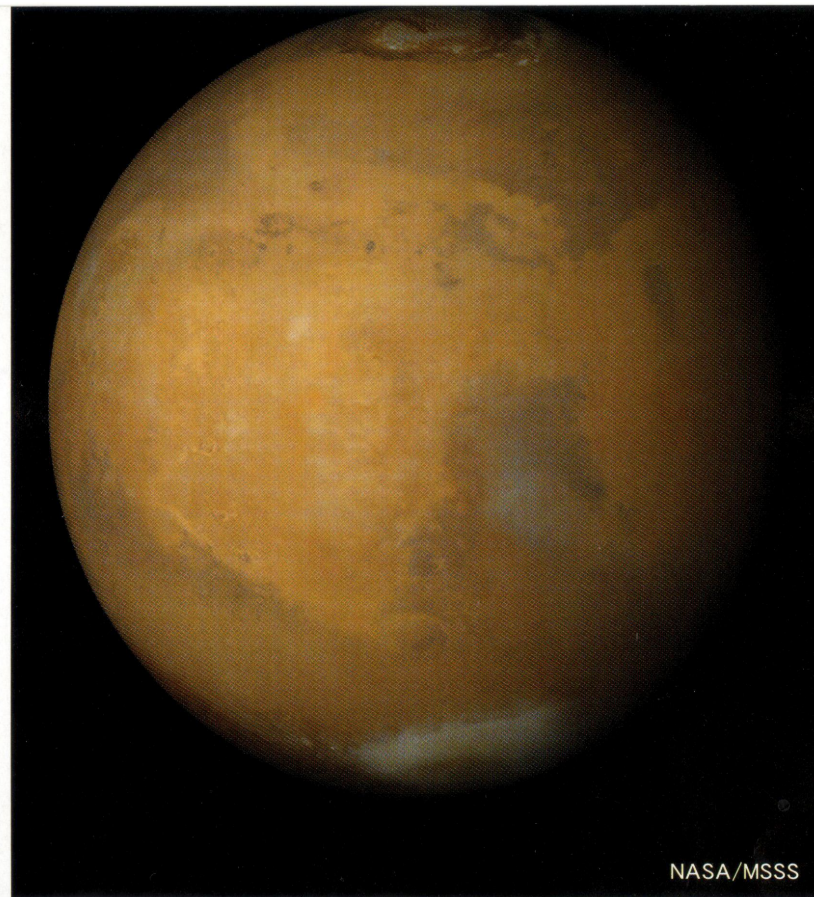
葛飾区



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101

R100

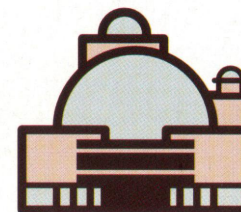


NASA/MSSS

PLANETARIUM

火星への遙かな旅

Vol.40 2001・春



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

宿命の対決、火星 VS アンタレス。



■赤さを競い合う宿命のライバル

真っ赤な星が二つ、深夜の南の空に輝いています。さそり座の1等星・アンタレスと、2年2ヵ月ぶりに地球に接近する火星です。

『アンタレス』という名前は、『アンチ・アレス』という言葉から来ています。アレスとは火星のこと。つまり、火星のライバル、という意味なのです。

火星は、ふだんはあまり目立たない星ですが、接近の頃にはひときわ明るく輝きます。そんな火星と、赤さや明るさを競い合っている星、というわけです。

今年の火星は、アンタレスの輝かさそり座のあたりで接近します。最接近の時の火星の明るさはマイナス2.3等星。ライバルのアンタレスを圧倒する明るさです。

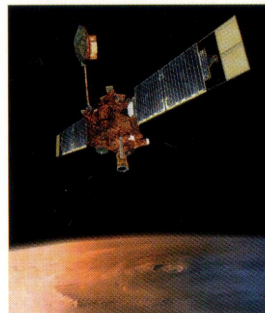
■ライバルの素顔は？

火星もアンタレスも同じような赤い星に見えますが、本当の姿はまったく違います。

まず赤く見える理由。火星は地球と同じく、太陽系の惑星です。その表面は酸化鉄、つまり赤さびを含んだ砂でおおわれています。そんな赤い砂だらけの表面に、太陽の光があたっているので赤く輝いて見えるのです。一方、アンタレスは500光年彼方にある恒星。太陽のようにみずから輝いている星です。その表面の温度は3500度と恒星にしてはやや低いため、赤く輝いています。

それから大きさも違います。アンタレスの直径は地球の2万5千倍。火星は地球の半分ぐらいしかありません。大きさ比べではアンタレスの圧勝ですね。

火星に水があった!?

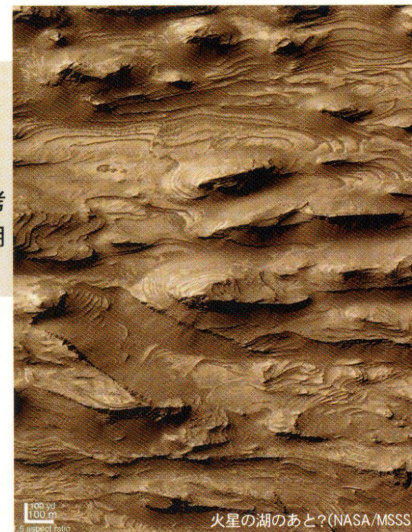


赤い砂漠に覆われた火星。一見、水なんか一滴もありそうにないこの星ですが、現在も火星のまわりを回りながら火星を見つめているアメリカの探査機『マーズ・グローバルサーベイヤー』によって、昔の火星には水があった、いや、ひょっとしたら今もあるんじゃないか…と思われる証拠が次々と見つかっています。そのいくつかをお見せしましょう。

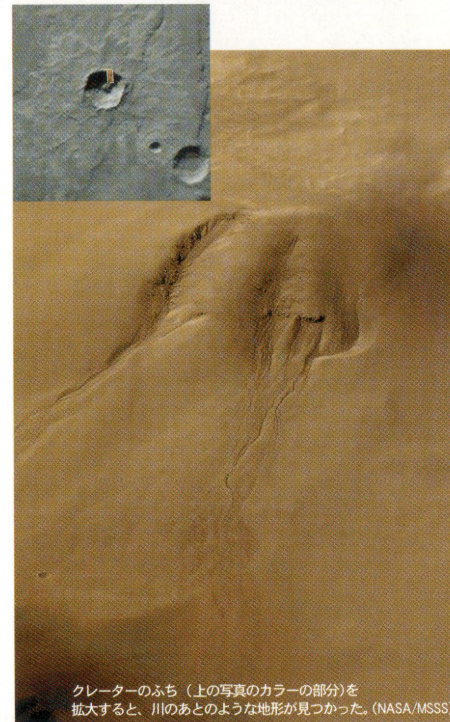
火星を観測するマーズ・グローバルサーベイヤー (想像図)
(NASA/JPL)

火星に湖があった!?

右の写真は火星の谷の一部分を上から見たところ。しま模様がたくさん見えています。これは水の働きによって作られた地層ではないかと考えられています。だとすると、ここには昔、湖か浅い海があったのかも知れません。



火星の湖のあと?(NASA/MSSS)



クレーターのふち(上の写真のカラーの部分)を拡大すると、川のような地形が見つかった。(NASA/MSSS)

水がわき出ていた!?

あるクレーターのふちの部分拡大して見ると、水がわき出して、小さな川となって流れていたよう跡のように見えるところが発見されました。しかも、似たような地形が火星のあちこちに見つかりました。これが本当なら、火星の地下には水がある可能性が高い、ということになります。